代表者懇談会における検討結果

東小千谷中学校区代表者懇談会

○小千谷市立小中学校の在り方検討委員会の答申

中学校における適正な規模は、生徒が多様な他者と関われるようクラス替えが可能であり、かつ、全ての教科（９教科）で免許を持つ専門の教員を配置できる規模

【東小千谷中学校の今後について】

①答申を踏まえ、全学年でクラス替えができ、全ての教科で免許を持つ専門教員を配置できる規模が望ましいと考える。
クラス替えを実施・全教科で専門教員を配置するために、小千谷中学校と統合の検討を進める。（東小千谷中学校区の生徒が小千谷中学校に通学する。）

②統合時期については、令和１６年４月を目途とし、各地域の意向を十分に踏まえた上で、市内中学校一斉の統合がよいと考える。

③スクールバス等を含めた安心安全な通学を確保する。

【代表者懇談会で出た主な意見】

- 中学校の統合は市内一斉がよい
- 安全なスクールバスの運行体制を整備してほしい
- 統合に向けて子どもたちのケアを充実させてほしい
- 学校に馴染めない子どもたちにとっての多様な選択肢の整備
- クラス替えだけではなく、専門教員の配置等による教育の質や環境の向上につなげるための統合が必要

参考：東小千谷中学校の今後の生徒数推移

入学年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
学年	3年生	2年生	1年生	1年後 (小学6年生)	2年後 (小学5年生)	3年後 (小学4年生)	4年後 (小学3年生)	5年後 (小学2年生)	6年後 (小学1年生)	7年後 (年長児)	8年後 (年中児)	9年後 (年少児)	10年後 (2歳児)	11年後 (1歳児)	12年後 (0歳児)	8年度と20年度の比較 (12年後)
各学年生徒数	32	49	28	37	42	33	40	40	30	38	35	30	26	24	27	
全校生徒数	109			114	107	112	115	113	110	108	103	103	91	80	77	-32